

「寒河江市立新中学校施設整備基本計画（案）」へのパブリックコメントの結果について

「寒河江市立新中学校施設整備基本計画（案）」について、令和7年6月9日から令和7年7月8日まで、パブリックコメントを実施しましたが、その結果は次のとおりです。

1 意見募集期間

令和7年6月9日から令和7年7月8日まで

2 意見の件数

意見提出者数 5件

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>中学校施設整備基本計画を読んでみて、なかなか理解が難しかった。                      正門がどこになるかも理解できないような概要だった。                      計画地の概要で (a) (b) (c) 12 万㎡と長々と説明があるも、結果的には寒河江高校グラウンドと中学校敷地の併用と小さく書かれていることが、担当の方の直接の説明でやっと分かったが、担当者には、私が持参した6月20日の回覧を見ながら説明を受け、(a) (b) (c) はあくまでも（案）ですと言われたが、よく見ると開発用地は寒河江高校グラウンドと中学校敷地の併用と明記されているのではないですか。案ではなくて決定事項です。                      矛盾しています。                      基本計画も、一般市民が5～10分で読んで簡単に理解できるような資料を提示すべきです。あの資料・概要は市民の多くの方に読んでもらおうと作成したのではないと理解します。</p> <p>パターン①～④までありましたが、パターン③はグラウンドが北側にあり融雪後にグラウンドがなかなか乾かなくて不適切だと考えます。                      ③以外は遠い将来に校舎の建て替える場合にも新たな土地を求めなくても、新しい校舎を西或いは東に建て替えができると思います。                      南から通学する子供も多くいるかと思えます。                      正門は北側ですが、南側にも通用門があった方が子供たちも楽に登校できるのではな</p>	<p>新中学校施設整備基本計画（案）をお読みくださりありがとうございます。ページ数も多く、専門用語なども多く記載されておりますので、難しいと感じる部分が多くなってしまった点については、今後検討する建築設計等の内容で改善させていただく予定でございます。</p> <p>計画本文中 2 ページに記載しました計画地の概要については、基本構想でお示した最有力候補地を説明した内容でございます。</p> <p>計画本文中 14 ページにおいて、開発用地として寒河江高等学校グラウンドと中学校敷地の併用として基本計画における（案）として記載しております。</p> <p>今後市民のみなさまにお示しする資料作成につきましても、わかりやすい資料作成を行うように改善してまいります。</p> <p>計画本文中 20 ページから施設配置ゾーンとして、パターン①～④をお示ししております。パターン③については、ご指摘の懸念もございまして、計画本文中 30 ページよりパターン①とパターン④を設定して、比較検討を行ったところでございます。計画本文中 61 ページに最終的な基本計画案の選定結果としまして、パターン④としてお示したところでございます。</p> <p>計画本文中 70 ページに今後の課題としてまとめられておまして、頂戴したご意見も踏まえ通学環境等について検討してまいります。</p> <p>地域への開放につきましては、計画本文中 70 ページに今後の課題としてもまとめられておまして、今後、建築設計等で頂戴したご意見</p>

	<p>いでしょうか。検討してください。</p> <p>地域への開放も検討いただいているので要望します。</p> <p>開放は屋内運動場や武道場をお考えかと思いますが、図書館や音楽室、親子や地域の子供会一緒になって楽しめる技術室での工作作業や家庭科室での調理作業、音楽グループが楽しめる音楽教室の開放を検討いただき、地域に根差した学校の設立を要望します。</p>	<p>等も踏まえ検討してまいります。</p>
2	<p>5.3 概算事業費の算定について</p> <p>4-4 建築工事の概算費用が別途記載があるものの昨今の資材・人件費の高騰及び新築建築物規模・ZEB化などを鑑みた設定になっているのでしょうか？</p> <p>5.5 スケジュールの検討について</p> <p>5-2 建築工事施工につきまして、施工期間が18ヶ月と想定されております。</p> <p>しかし、建築予定規模及び昨今の働き方改革及び発注者様による週休2日制現場の履行などを鑑みますと、あまりにも短い設定ではないでしょうか？</p>	<p>計画本文中 65 ページ、5.3 概算事業費の算定については、これまで建設された学校の建築単価等を参考に積算したものです。ご指摘のとおり、資材や人件費が高騰しておりますので、※でも記載しておりますが、今回お示ししているものは、基本計画段階での概算であり、材料費や人件費の高騰等の影響により変動する可能性があるものと考えております。</p> <p>計画本文中 69 ページ、5.5 スケジュールの検討については、教育環境の充実を早期に実現するための設定となっております。</p> <p>現在、建築設計のプロポーザルを実施しており、工期なども含めた提案をいただく予定となっております。</p> <p>建築予定規模や働き方改革などを考慮して、今後の事業を進めてまいります。</p> <p>また、計画本文中 70 ページの今後の課題に、概算事業費・工期について追記いたしました。</p>
3	<p>計画の冒頭、〈基本計画策定の背景と経緯〉のなかで、「公立の小中学校は、児童生徒等の学習・生活の場であり、公教育を支える基本的施設となっております。また、地域のコミュニティの拠点として生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場として利用される身近な公共施設であるとともに、災害発生時には地域の避難所としての役割を果たす多機能かつ重要な施設」と規定しているように、現在は、地域とともにある学校、部活動の地域移行など、地域との関わりが重要になってきています。</p> <p>また、本市では、学校施設は学校活動以外に一般に貸し出しており、地域の生涯学習、文化、スポーツ活動の場としても利用されております。</p> <p>これらのことを踏まえて、学校の校舎につ</p>	<p>地域への開放につきましては、計画本文中 70 ページに今後の課題としてもまとめておりまして、今後、建築設計等で頂戴したご意見等も踏まえ検討してまいります。</p> <p>部活動の地域展開や地域との連携を推進し、活動しやすい施設となるように検討してまいります。</p>

	<p>いては、放課後の部活動に地域の指導者が入ること、地域の文化活動で活用することを前提としたセキュリティ対策を講じた施設整備をしていただきたいということを要望します。</p> <p>また、外の活動で利用する野球場、サッカー場、陸上競技場、テニスコートなど、その配置については、スペースの問題はあると思いますが、競技場ごとにその方向性（テニスコートであれば長軸を南北に配置）に配慮したり、地域の人々が利用することを前提とした人工芝やナイター設備を考慮した整備をしていただきたいということを要望します。</p>	
4	<p>・「面積 14,300 m<sup>2</sup>規模に対し、工期 18 ヶ月は現実的か」</p> <p>面積 14,300 m<sup>2</sup>もの規模で新築校舎を建設する計画でありながら、工期がわずか 18 ヶ月と設定されている点に懸念を抱いております。近年の建設業界では週休二日制度や人手不足、資材供給の不安定化などが指摘されており、この規模で高品質な学校建設を整備するには、より長い工期が必要なのではないかと考えます。</p> <p>・「ZEB 対応校舎にしては予算が過小ではないか」</p> <p>本計画では ZEB（Net Zero Energy Building）対応の建築物とされているにもかかわらず、提示されている総工事予算が同等規模の ZEB 建築と比較して著しく低く設定されているように見つけられます。</p> <p>ZEB 化には高度な断熱性能や高性能設備（太陽光発電、蓄電池、制御システム等）が不可欠であり、それらを考慮すると現在の推定予算では十分な性能・品質を担保できるのか疑問が残ります。今後、コスト超過や仕様縮小につながらないか危惧しております。</p>	<p>計画本文中 69 ページ、5.5 スケジュールの検討については、教育環境の充実を早期に実現するための設定となっております。</p> <p>現在、建築設計のプロポーザルを実施しており、工期なども含めた提案をいただく予定となっております。</p> <p>建築予定規模や働き方改革などを考慮して、今後の事業を進めてまいります。</p> <p>計画本文中 65 ページ、5.3 概算事業費の算定については、これまで建設された学校の建築単価等を参考に積算したものです。ご指摘のとおり、ZEB 対応の建築物の工事単価などを参考にしながら、今後、コスト超過や仕様縮小とならないように検討してまいります。</p> <p>また、計画本文中 70 ページの今後の課題に、概算事業費・工期について追記いたしました。</p>
5	<p>・近年の建設物価の上昇及び建設技術者の不足、週休 2 日の実施等に伴い下記の通り意見を提出いたします。</p> <p>・工事の安全計画を考えると、学校への進入路が北側 1 カ所しかないのは搬入効率が悪く、万が一の際に不便である。</p> <p>・令和 11 年度の開校に向けた事業スケジュールでは、建築工事施工期間が 18 か月となっておりますが、大変短い工期に思えます。近隣で計画している朝日町立未来学園は想定建物規模（延床面積約 10,000 m<sup>2</sup>）に対し、27 か月となっております。</p> <p>また、県立寒河江工業高等学校（延床面積</p>	<p>学校への進入路につきましては、今後予定しております設計業務において、頂戴したご意見等を踏まえ検討してまいります。</p> <p>引き渡しから開校までの準備期間については、頂戴しましたご意見などを踏まえ、全体の工程の中で改めて調整・検討してまいります。</p> <p>現在、建築設計のプロポーザルを実施しており、工期なども含めた提案をいただく予定となっております。パブリックコメントとしてご提出いただきました他市町村の事例などを参考にしながら、工期や工事等について検討してまいります。</p> <p>また、計画本文中 70 ページの今後の課題</p>

<p>13,318㎡)は寒河江市立新中学校と同規模ですが、(屋外運動場の整備を除き)27か月の工期を要しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事費については想定で71.8億円、坪あたり約150万円になっています。詳細な設計は今後計画されると思いますが、参考までに尾花沢市の新設小学校では予定価格55.6億円、延床面積9226㎡、坪あたり約200万円、工期18か月で不調になっていました。</li> <li>・引き渡し後から開校までの準備期間が2か月では相当厳しい。最低3か月は必要かと思います。</li> <li>・昨今行われている同規模の学校計画も、再度参考にしていただき、工期や工事等についてご検討願います。</li> </ul>	<p>に、概算事業費・工期について追記いたしました。</p>
---	--------------------------------